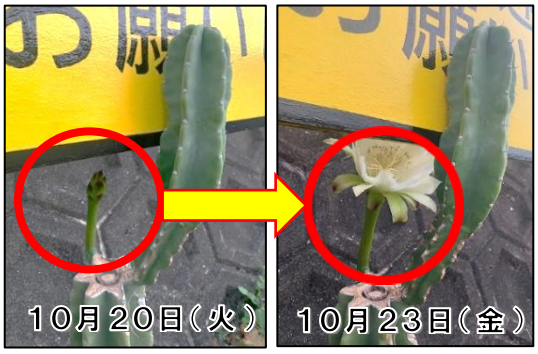
【学校教育目標】「確かな学力　豊かな心　健やかな体」
知・徳・体のバランスのとれた力を育くむ

伊岐佐小学校便り　No. 24
令和８年10月28日発行
文責　校長　梶原　康裕

キラ・ニコ・ドン・パッ

キラキラ輝く子ども　ニコニコ笑顔の子ども　ドンドン挑戦する子ども　パッと行動する子ども

貴重な花が咲きました



坂下の「送迎の車」に関する看板の下にあるサボテンをご存じでしょうか。写真をとって Gemini に聞いたところ、ケレウス・プテラゴヌスという柱状サボテンだそうです。朝のあいさつ運動に行った際、ふと見ると、ニョキッとつぼみがついていたのです。その３日後に見事な白い花が咲いていました！！登校する子供に「サボテン見て見て～」と声をかけると、「きれい～」と感嘆の声をあげていました。昼間に見に行った際には、すでに花が閉じていました。サボテンの花を見ることってなかなかないのですが、とても幸せな気分になり、チューリップの「サボテンの花」を自然と口ずさみました♫

いよいよですね



伊岐佐あきまつりの練習も熱を帯びています。オープニングは、４～６年生が太鼓をたたきます。運動会では外での演奏でしたが、体育館の室内だと、音がとても響いて迫力があります。そして、春よりも力強さが増しています。短い練習期間でしたが、とても集中して取り組めました。

じっくり本を読む活動は大切です



昼休みに図書館で読書祭りが開かれています。クイズラリーやしおり作りが行われました。図書館をのぞいてみると１０名ほどの子供がいました。本に親しんでもらおうと図書の本山先生が色々と工夫を凝らしています。最近はタブレットに主役を奪われて、じっくり本を読む機会が少なくなっている気がします。「読書は心や語彙力を育てる」と言われますが、実は「脳のトレーニング」としても大きな効果があります。本を読むとき、私たちの目は文字を追って上下左右へ高速に動いています。自発的に目を動かすことで、脳全体が活性化され、記憶力や情報の処理スピードが高まるそうです。動画などの受動的な画面閲覧と異なり、紙のページを能動的に追う読書は、学習の土台となる「脳の体力」を鍛えてくれます。ご家庭でもぜひ、秋の夜長に親子で読書を楽しんでみてください。